

このたびは、新日軽の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

組立・取付け上の注意事項

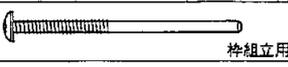
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

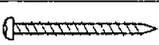
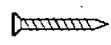
- ・玄関ドア以外への転用および改造は行なわないでください。
- ・指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ・ねじ止め箇所は指定してあるねじを全て確実に止めてください。
- ・ドア本体は重いので、2人以上で扱うなど建て込みの際には、足元や周囲に十分配慮して行なってください。
- ・シーリング(コーキング)は、塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てを確実に行なってください。
- ・組み立て完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉作動や施錠が正常に行なうことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。
- ・引き渡し前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ・施錠した状態で枠とドア本体のチリ寸法が均一であるかどうかご確認ください。不具合がある場合は、確実に建て付け調整を実施してください。

取り付けを行なう躯体は、『施工要領注意書』をよくお読みになった上で、枠を施工してください。
注意を怠った場合、扉の開閉に影響を及ぼすおそれがあります。

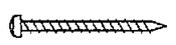
梱包セット明細

■ねじセット

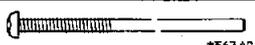
名称	姿 図	入数
① バインドタッピン2種 4×60-25D8.3	 枠組立用	10
② なベタッピン2種 4×40-35D7	 枠組立用	4
③ なベタッピン3種 4×30D7	 枠組立用	1
④ なベ小ねじ 4×65D7	 枠組立用	4

名称	姿 図	入数
⑤ 丸木ねじ 3.8×38	 枠取付用	28
⑥ 丸木ねじ 4.5×63	 枠取付用	6
⑦ さら木ねじ 3.5×25	 枠取付用	6

■ねじセット (たて枠補助取り付けの場合)

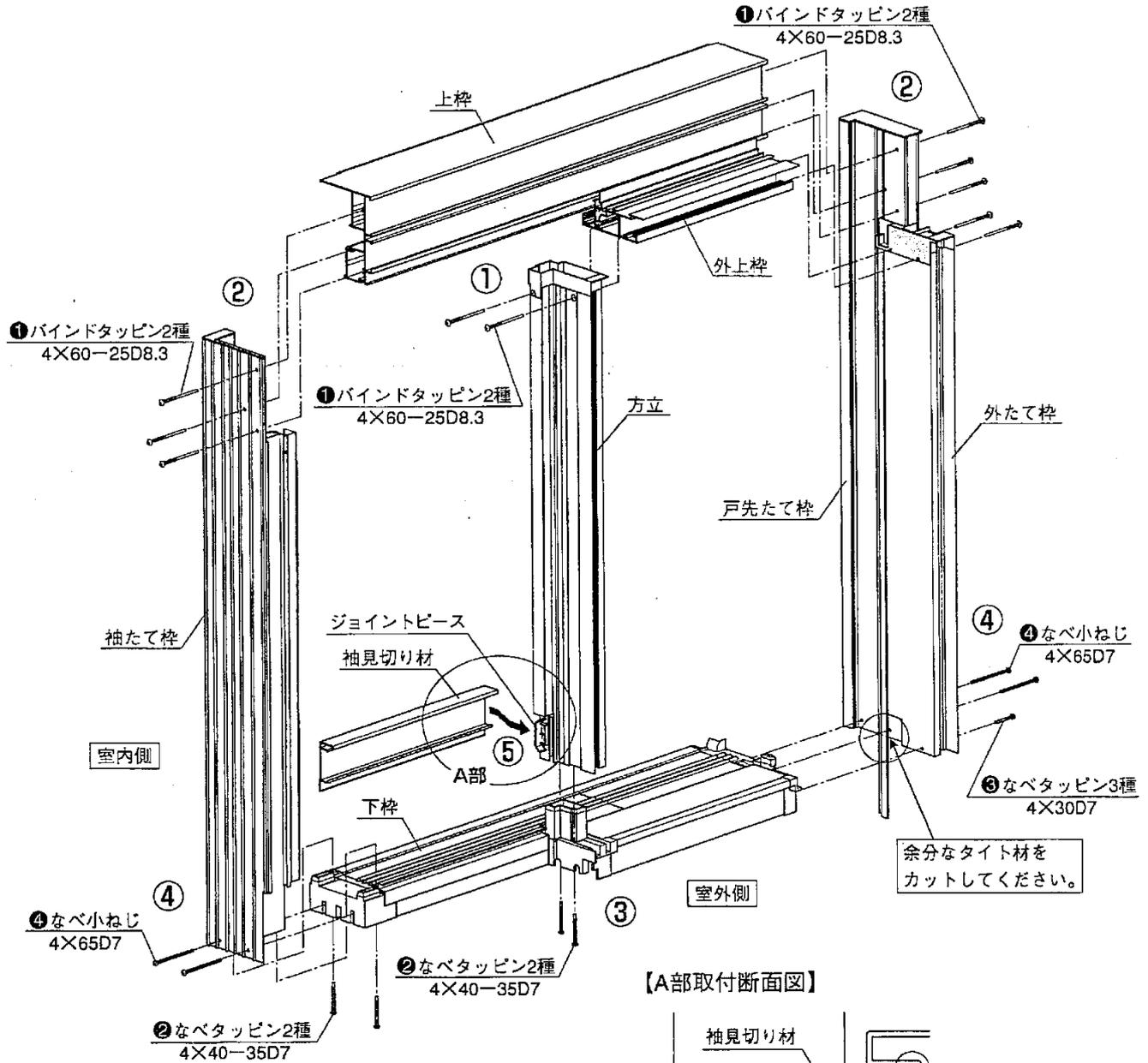
名称	姿 図	入数
⑧ さらテクス 4×13D7	 枠組立用	6
⑨ なベテクス 4×40	 枠組立用	6
⑩ 丸木ねじ 3.8×38	 枠取付用	12

■ねじセット (額縁取り付けの場合)

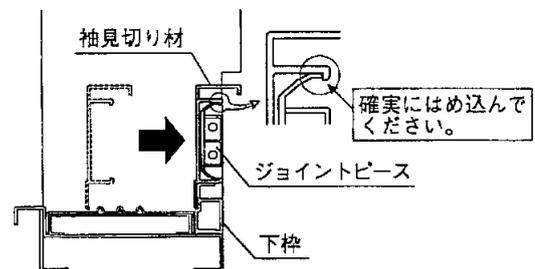
名称	姿 図	入数
⑪ なベタッピン2種 4×90-30D7	 額縁組立用	4
⑫ ホールプレート	 額縁組立用	2
⑬ 丸木ねじ 3.8×38	 枠取付用	13

1 枠の組立

- ① 方立と上枠を① バインドタッピン2種で組み立ててください。
- ② 方立に下枠を差し込み、たて枠と下枠を仮組みした後、上枠とたて枠を① バインドタッピン2種で固定してください。
- ③ 下枠と方立を② なベタッピン2種で固定してください。
- 下枠とたて枠は、たて枠側から③ なベタッピン3種と④ なべ小ねじで、下枠側からなベタッピン2種で固定してください。
- ⑤ 袖見切り材をジョイントピースにはめ込み、取り付けてください。



【A部取付断面図】



2 枠の取付

■両入隅の場合

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を室内側より躯体に取り付け仮止めしてください。

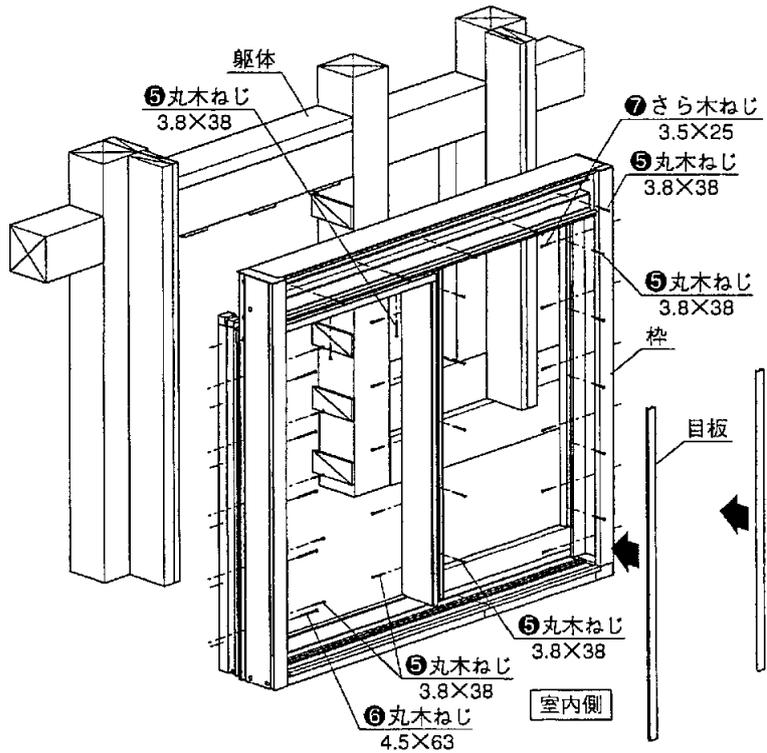
注意

取り付け開口部は柱の補強をしっかり行ってください。取り付け開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋損害の原因になります。開口部の水平垂直・対角寸法およびねじれ等は必ず確認してください。

注意

本固定の前に枠のねじれがないことを確認してください。枠のねじれは、ドアの開閉機能に支障がでる原因になります。

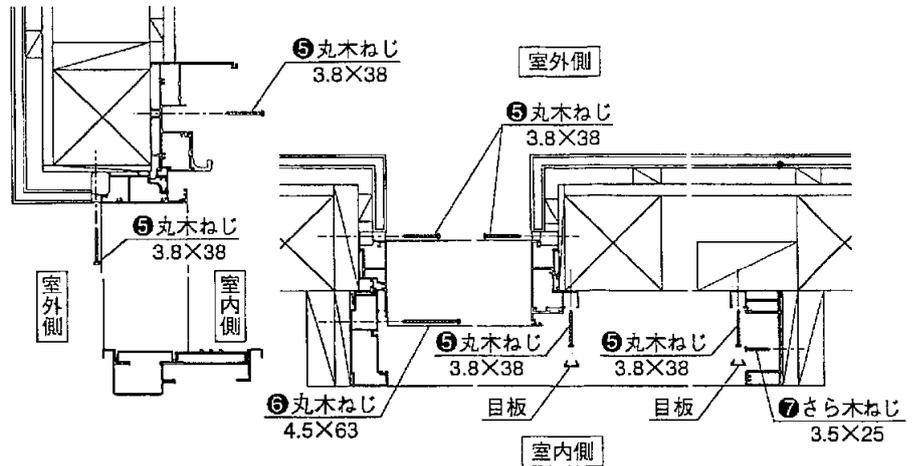
- ②右図を参考に指定のねじで枠を固定してください。



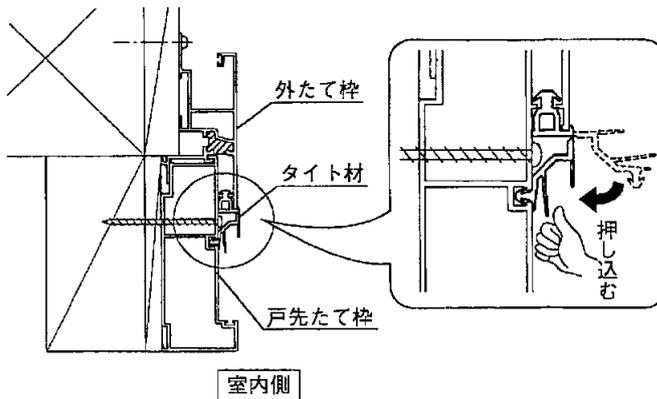
- ③袖たて枠と方立に目板を取り付けてください。

ポイント

目板はそれぞれ長さが違います。目板の長さを確認の上、間違いないように取り付けてください。(短い方の目板が方立側です。)



- ④タイト材(ねじかくし)を戸先たて枠に指で押し込み、はめ込んでください。

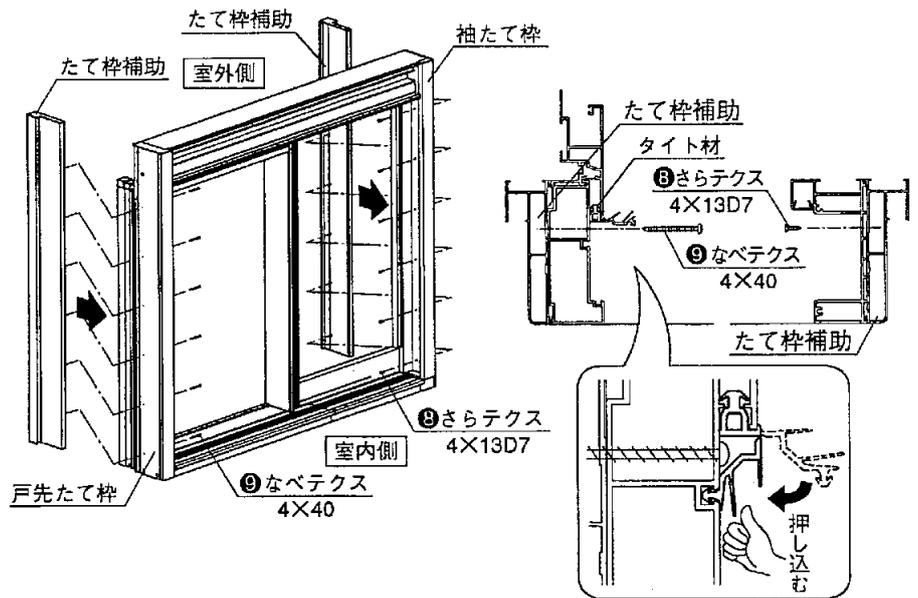


躯体は、同梱の『施工要領注意書』をよくお読みになり、正しく仕上げてください。

■入隅でない場合

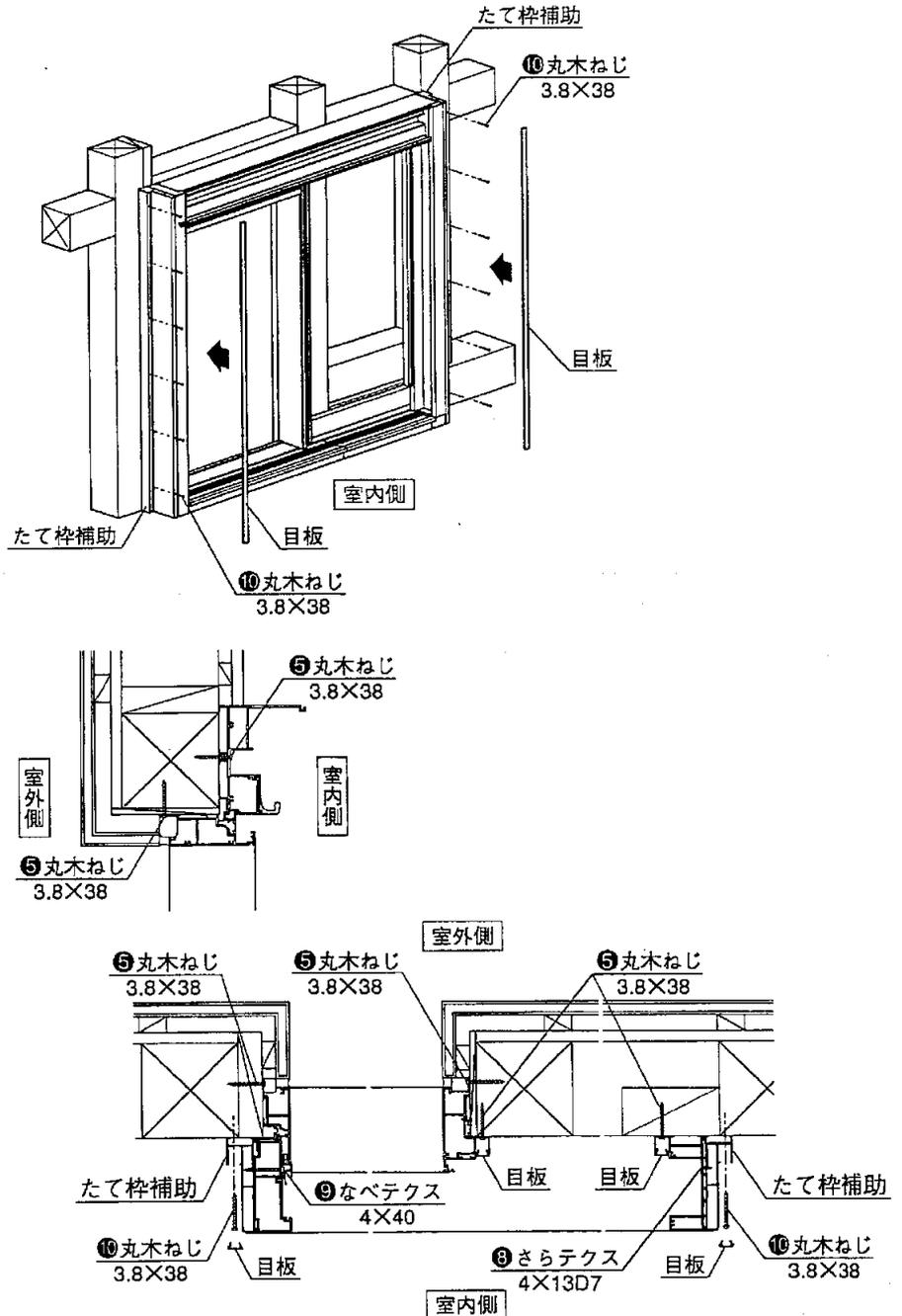
①室外側より、たて枠補助を内たて枠および袖たて枠を取り付けてください。

②タイト材(ねじかくし)を戸先たて枠に指で押し込み、はめ込んでください。



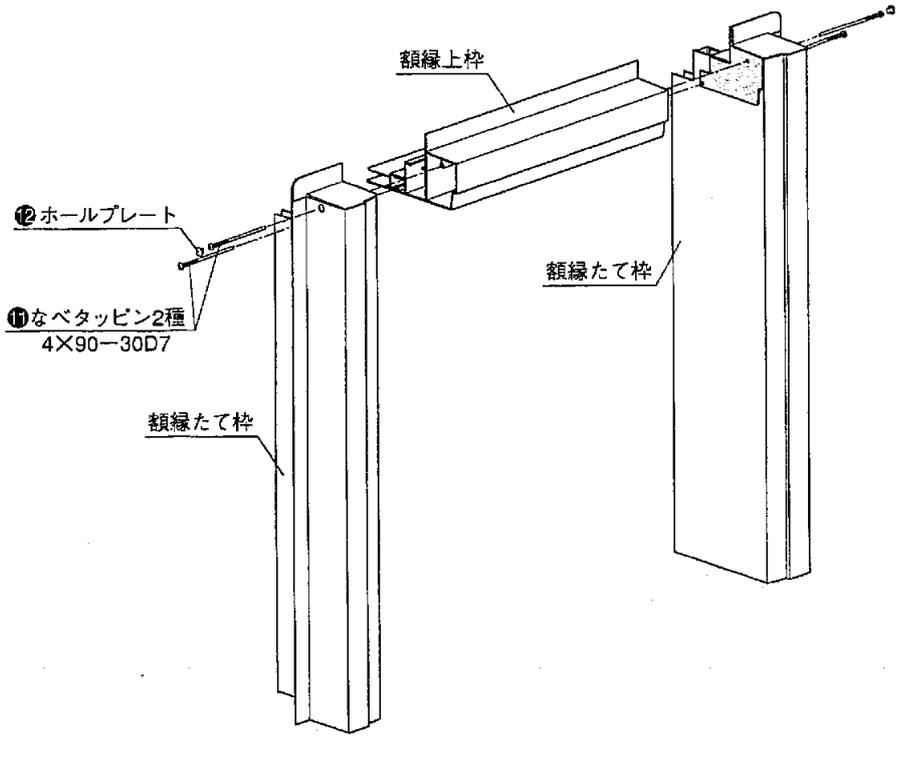
③室内側より枠を取り付け、入隅の場合と同様にねじで固定してください。その他、たて枠補助部も右図のように指定のねじで固定してください。

④たて枠補助に目板を取り付けてください。



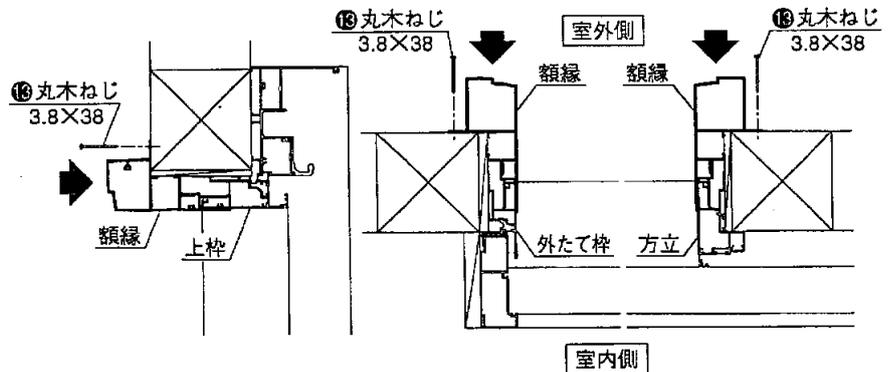
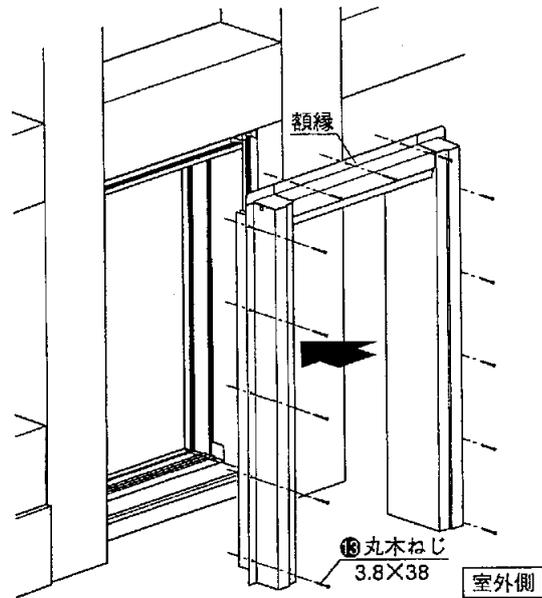
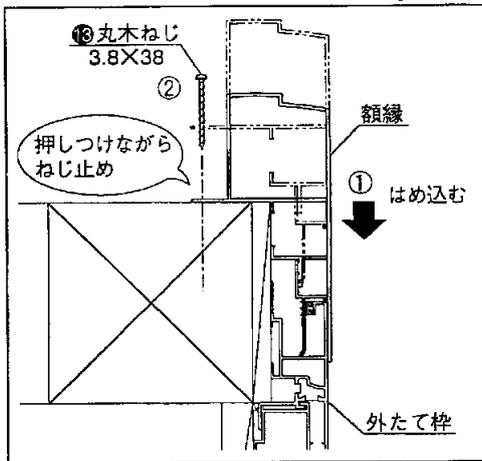
3 額縁の組立

- 指定のねじで額縁を組み立ててください。



4 額縁の取付

- 枠に額縁をはめ込み、額縁を手で押し付けながら、丸木ねじで躯体に固定してください。



5 ドアの吊込

ポイント

ドアを吊り込む前に、上戸車のはずれ止めが下がっていることを確認してください。

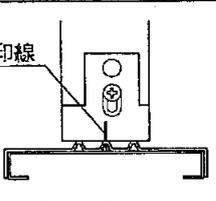
- ①あらかじめ、枠に同梱されている戸車をドア本体に取り付けてください。
- ②ドア本体下部にテープ止めされているピースの溝をレールの凹凸に合せ、ドア本体を下枠に乗せてください。
- ③そのままドア本体を起こせば、上戸車が上レールの位置にきます。
- ④ドアを軽く持ち上げてピースを走行方向に引き抜き、上戸車を上レールに乗せてください。

注意

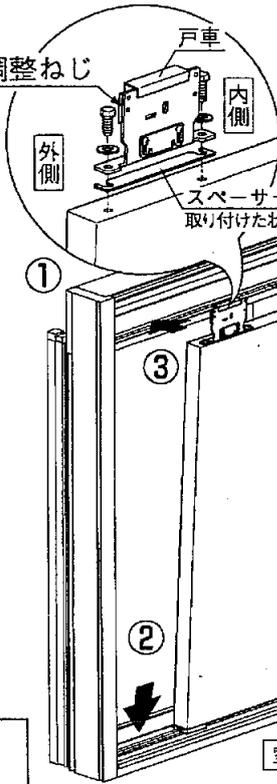
この時点では、ドアは仮置きの状態です。ドア本体の下部を強く押すとレールからはずれるおそれがありますので注意してください。

ポイント

ドアの側面下の部品に目印線が付けてあります。目印線がレール中央の山とずれていないことを確認してください。

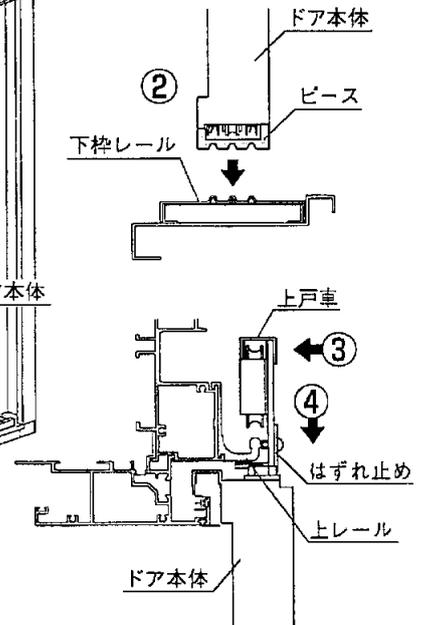


建付調整ねじ



ポイント

戸車には左右勝手があります。建付調整ねじが外側に向くように取り付けてください。

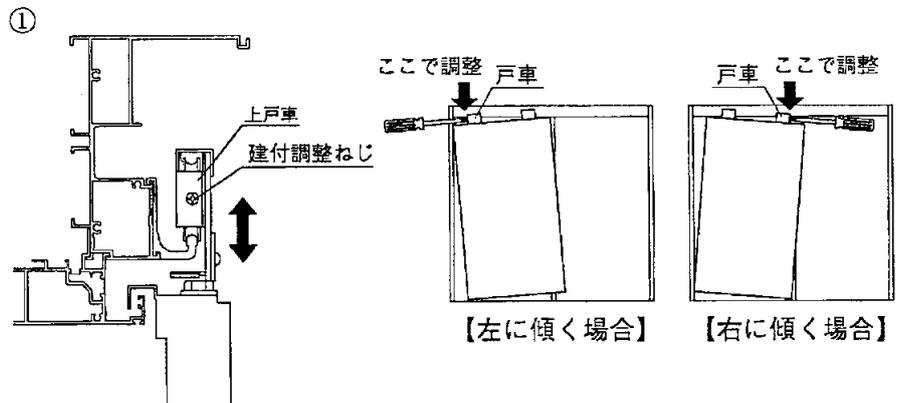


6 ドアの建付調整および本固定

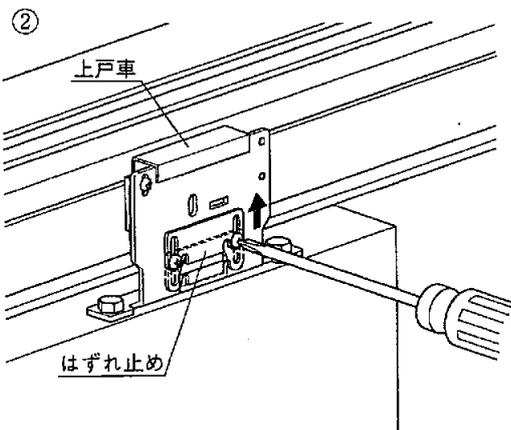
注意

性能保持のため、以降の内容については確実に行ってください。

- ①右図を参照し、上戸車の横にある建て付け調整ねじで建て付け調整を行ってください。

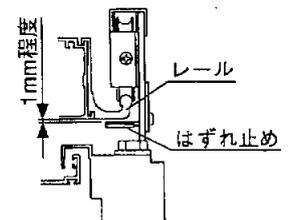


- ②調整後は上戸車のはずれ止めを上へ上げ、ドアを固定してください。

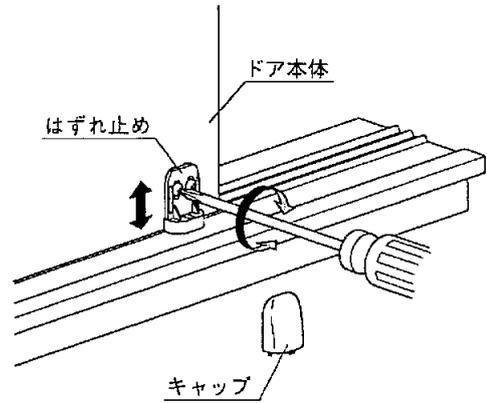


ポイント

はずれ止めとレールの間は、1mm程度のすき間が空くように調整してください。



- ③ ドア本体下部にあるはずれ止めのキャップをはずし、ねじを一旦ゆるめてはずれ止め高さ調整を行ってください。
調整後は、キャップを元のはめてください。



ポイント
下枠レールとはずれ止めのすき間は、2mm程度になるように調整してください。

7 錠の取付

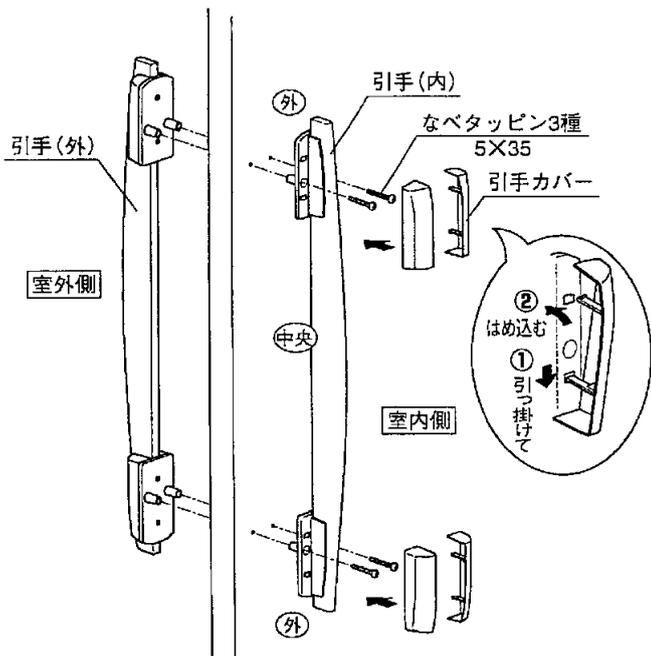
- 錠セットに同梱の説明書に従い、ドア本体に錠を取り付けてください。

錠の取り付けは、必ず引手を取り付ける前に行なってください。

8 引手の取付

- 図のように、ドア本体の取り付け穴に合わせて引手を室内側よりねじ止めし、引手カバーを取り付けてください。

ポイント
引手カバーは、まず中央側のツメを引っ掛けてから外側をはめ込んでください。



9 リニアモーター(モーター部)の取付

- 上枠のリニアモーター取り付け穴の穴ふさぎシール(3ヶ所)をはがし、リニアモーターを取り付けてください。取り付け位置は下図を参照してください。リニアモーターのコンセントプラグは、上枠袖側の配線穴から出してください。

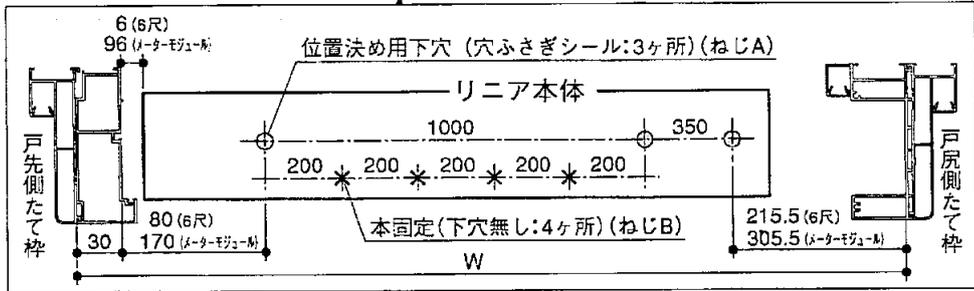
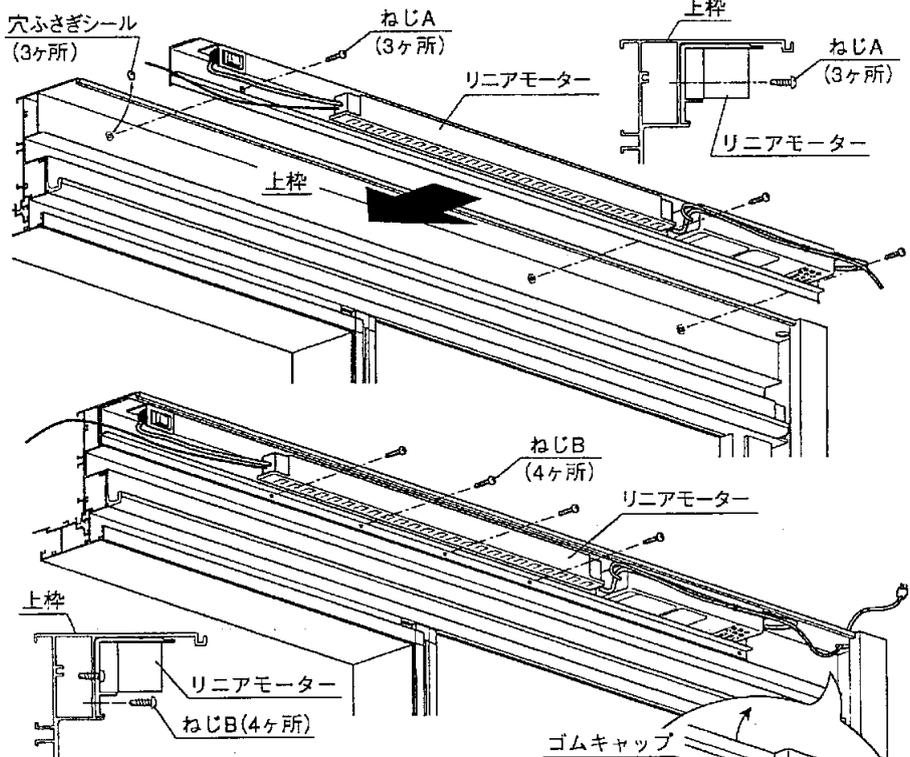
お願い

配線穴のゴムキャップはカッターナイフで十字に切れ目を入れ、コードを通してください。

※モーター部の取り付けは、ドアの吊り込み前を奨励します。(後付けも可能です)

■リニアモーター取り付け位置

上枠の位置決め用下穴に合わせて固定してください。(下穴はシールが貼り付けてありますので、はがしてから取り付けてください。)



※この項は、仕様によって不要な場合があります。

10 リニアモーター(ムーバー)と通電金具(電気錠)の取付

- ① 上枠中央の穴ふさぎシールをはがし、その加工穴に通電金具の先端の大きいコネクタがついている方を止めてください。

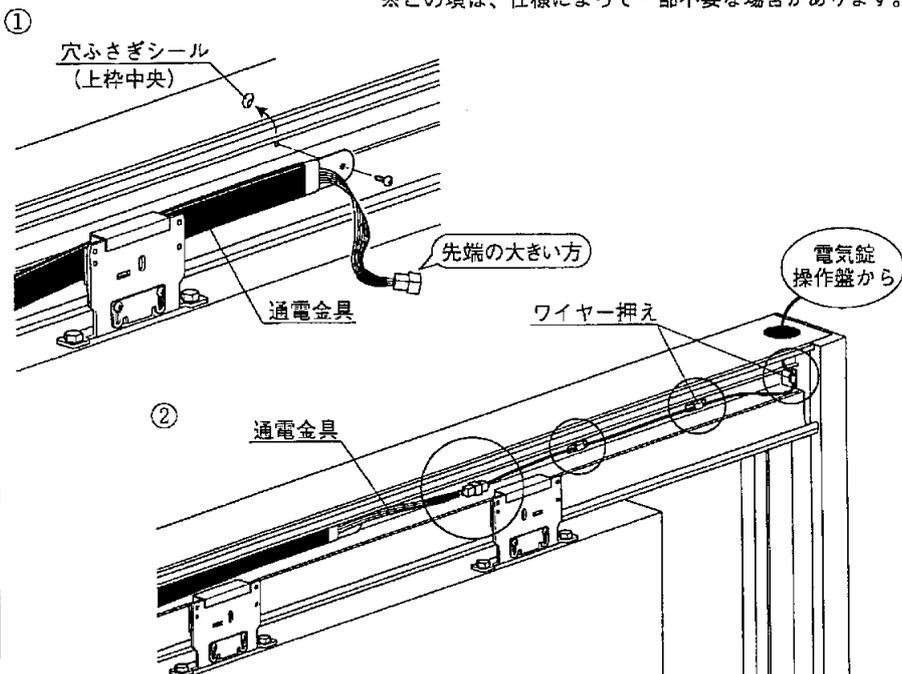
※電気錠を取り付けない場合は、①②③の作業は不要です。

- ② 取り付け側の通電金具端子を電気錠操作盤の端子とつないでください。

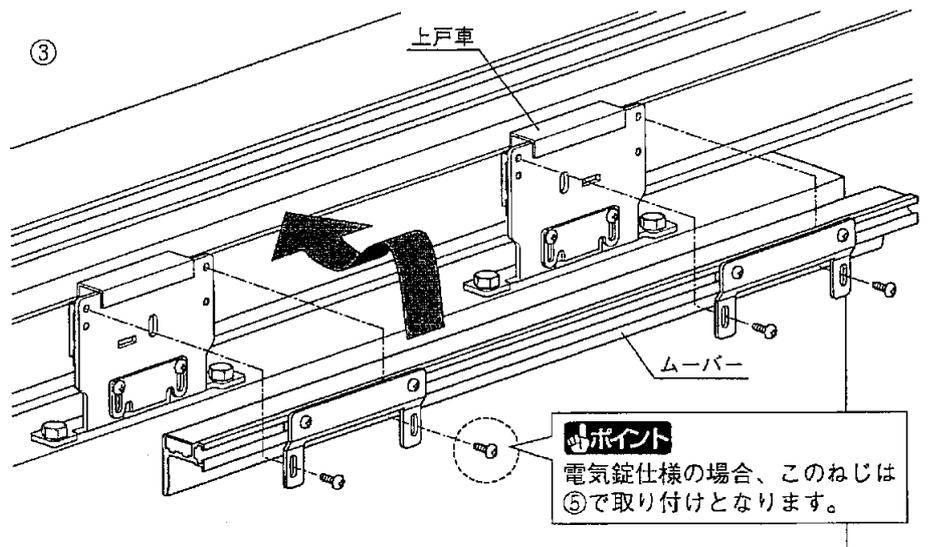
注意

上枠を通るコードは、ドアの開閉時に干渉しないよう、同梱のワイヤー押さえで固定してください。

※この項は、仕様によって一部不要な場合があります。



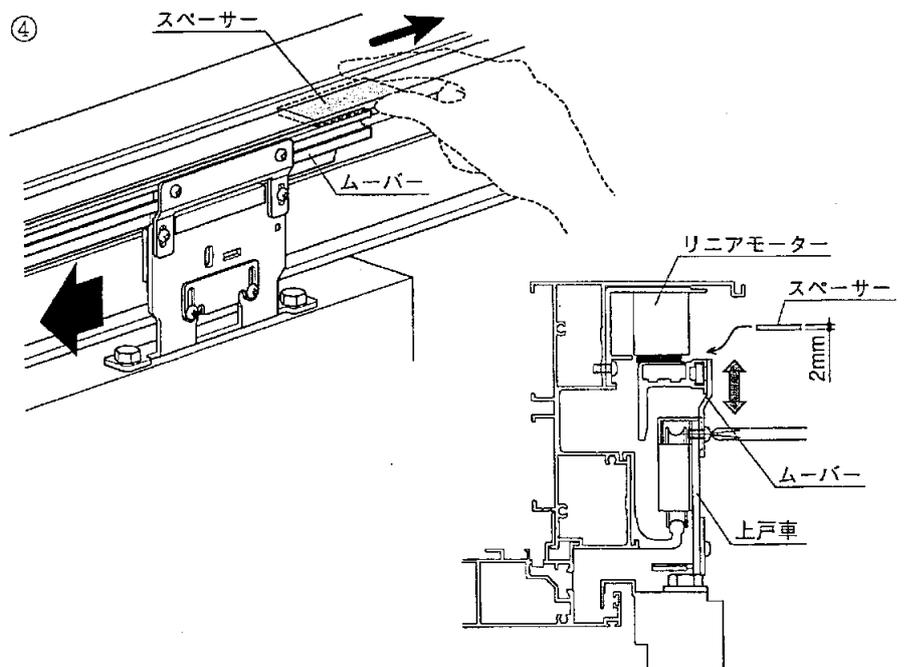
- ③ムーバーをリニアモーター部に取り付け、上戸車と仮固定してください。



- ④リニアモーターとムーバーの間にスペーサー(2mm)をはさみ、すき間を調整しながら本固定してください。

ポイント

スペーサーを抜くときは、スペーサーの端を押さえてドアをスライドさせると、作業がスムーズに行えます。

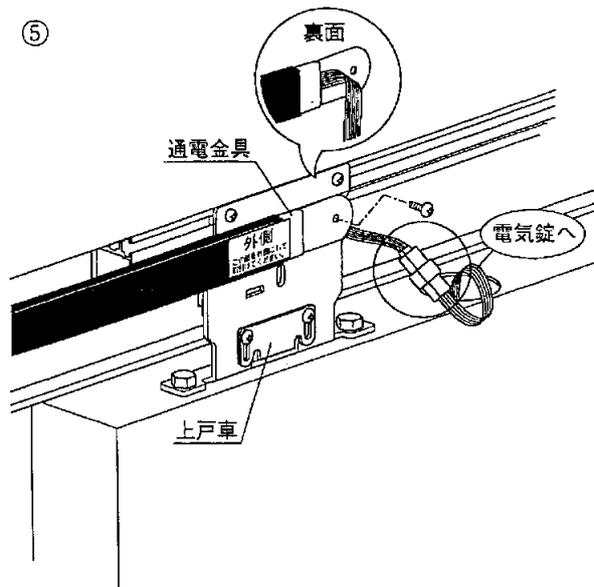


- ⑤通電金具のもう片方を、戸先側のムーバーの連結具・上戸車と共締めしてください。
通電金具の端子は、ドア本体から出ている電気錠の端子とつないでください。

※リニアモーターを取り付けない場合は、直接上戸車にねじ止めしてください。

ポイント

通電金具は外側の表記が見えるように取り付けてください。また、裏面はコードがねじと干渉しないよう折り曲げておいてください。



配線完了後にゆっくりと開閉を行ない、線等がムーバーと干渉しないなどを確認してください。

11

スイッチストライク(リニアモーター～電気錠連動スイッチ)の取付・配線

※この項は、仕様によって一部不要な場合があります。

- ①リニアモーター戸先側の端子を電気錠用の配線端子とつなぎ、配線穴から戸先側たて枠の中へ通してください。

お願い

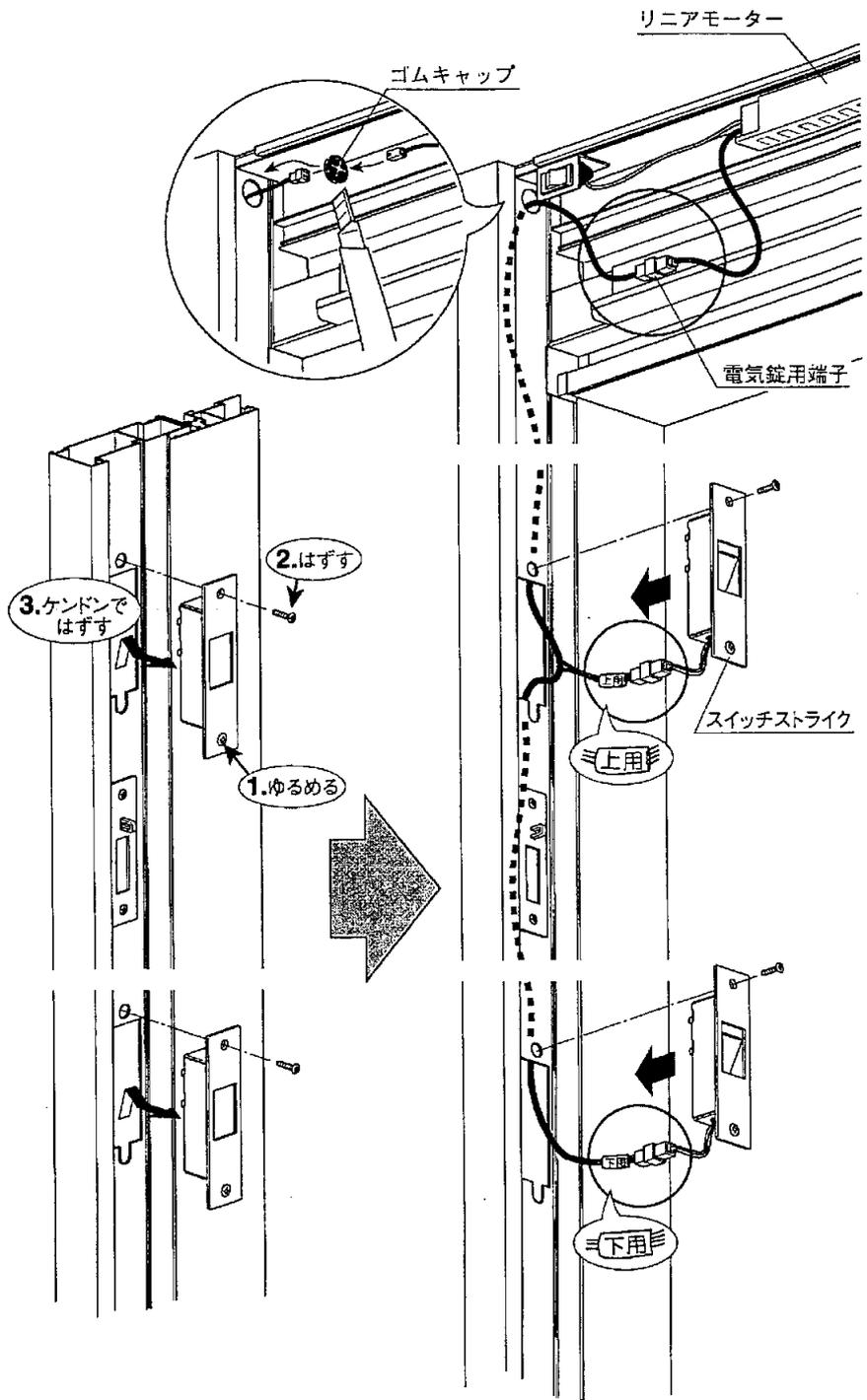
配線穴のゴムキャップはカッターナイフで十字に切れ目を入れ、コードを通してください。

- ②開梱時に取り付けられている錠受けを右図を参照にケンドンではずしてください。

- ③たて枠に通されたコードにスイッチストライクをつなぎ、たて枠に取り付けてください。

ポイント

コードには上用と下用が明記されていますので、正しく取り付けてください。スイッチストライクは上下同じものです。

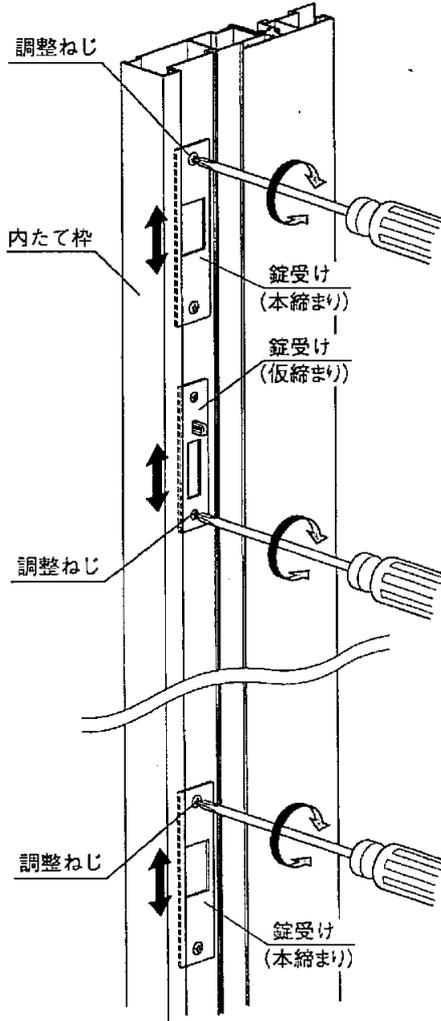


12 錠の建付調整

- 錠の作動確認をし、錠が掛かりにくい場合は、調整が必要です。右図を参照に錠受けの調整ねじをゆるめ、上下位置を調整してください。

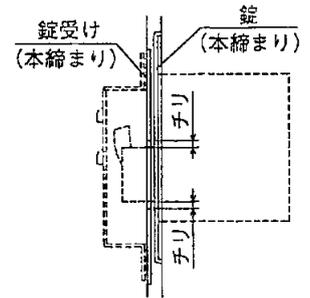
注意

調整を行なった後は、調整ねじを必ず締めてください。



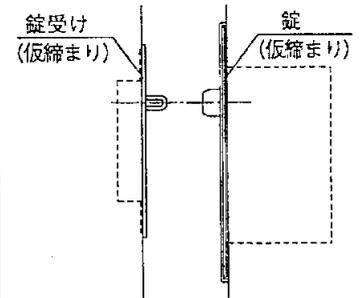
ポイント

本締まり錠の鍵と受けの間は、上下にチリができるように調整してください。



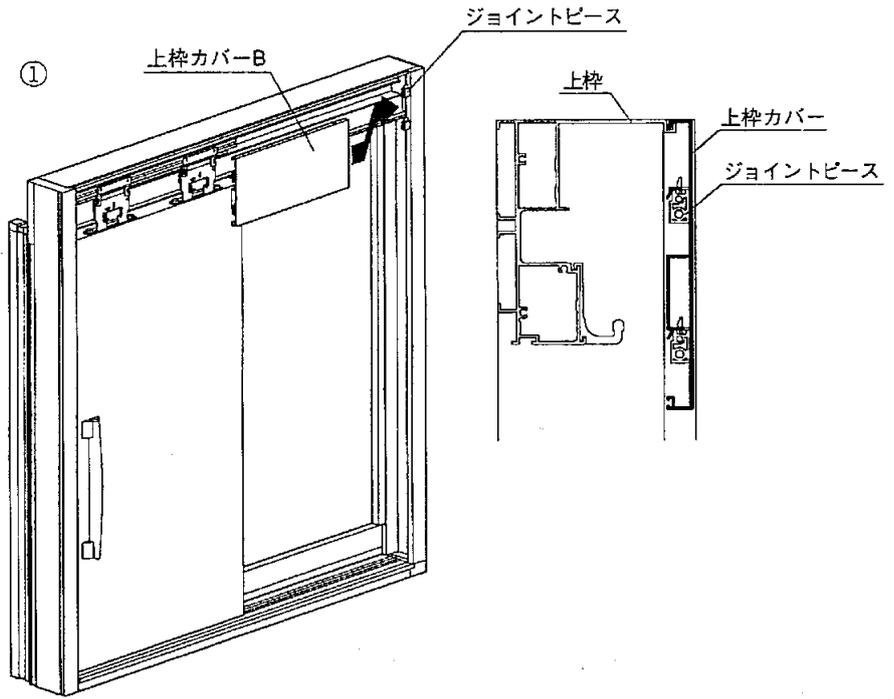
ポイント

仮締まり錠は、錠と受けの突起のセンターが合うように調整してください。

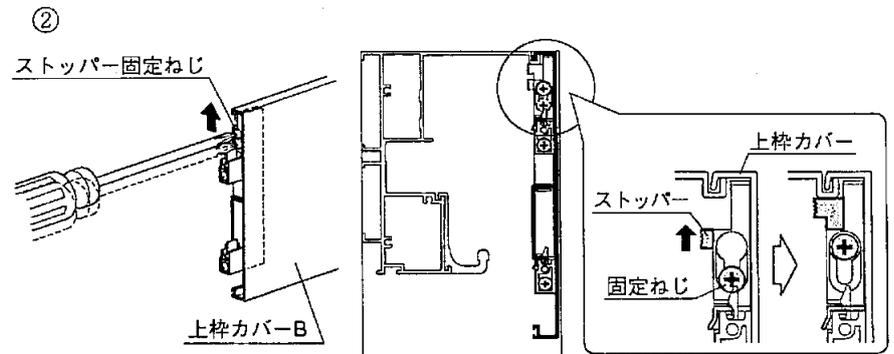


13 上枠カバーの取付

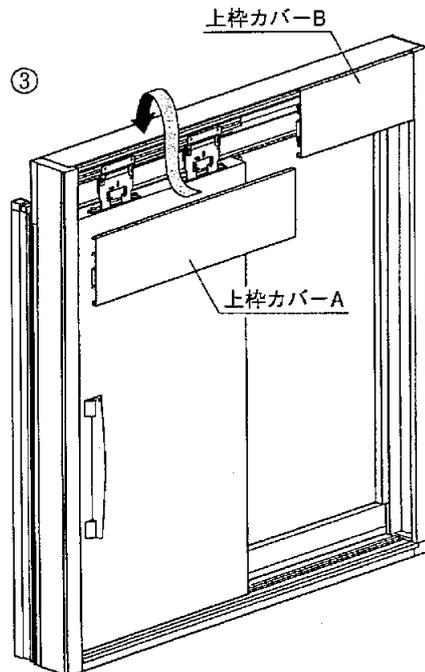
①上枠カバーB(短い方)を袖側たて
て
枠のジョイントピースに合わせて、
横からスライドさせて取り付けて



②上枠カバーBのストッパー固定ねじをゆるめ、ストッパーを上げた
後ねじを締め込んで上枠カバーB
を固定してください。

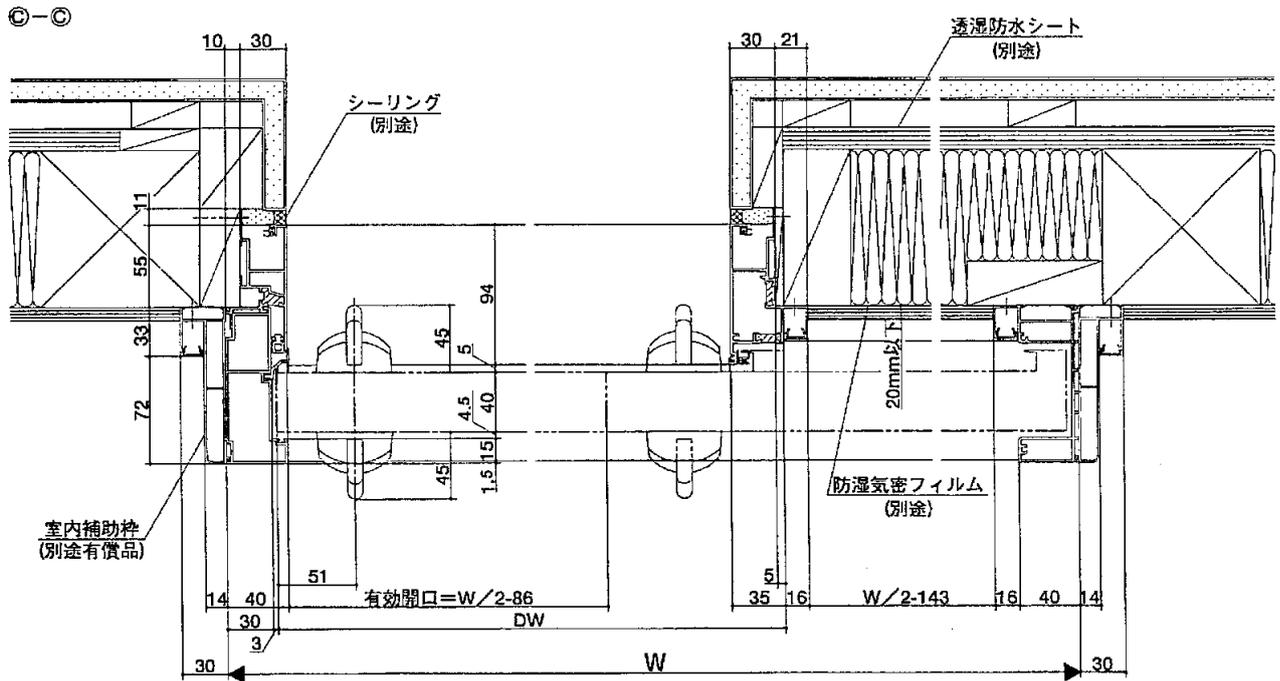
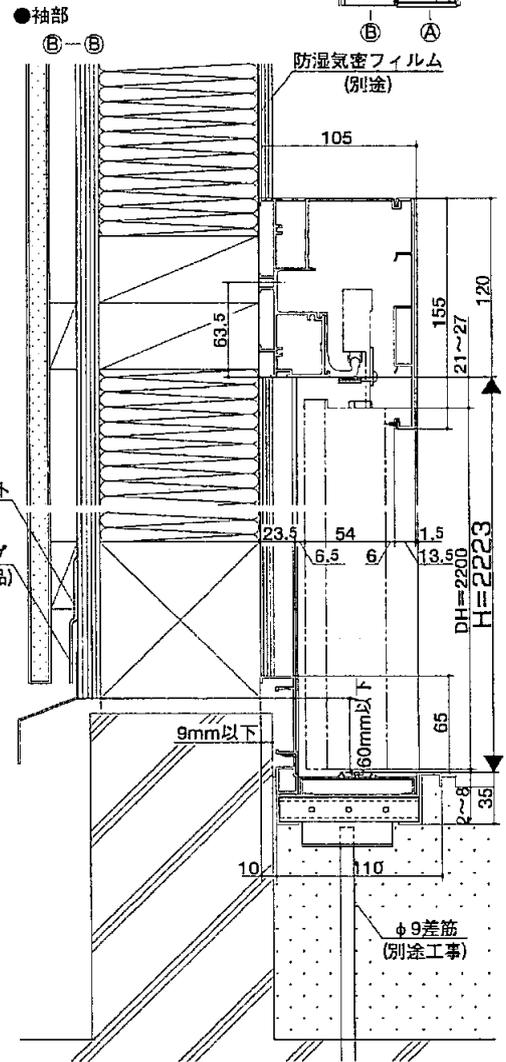
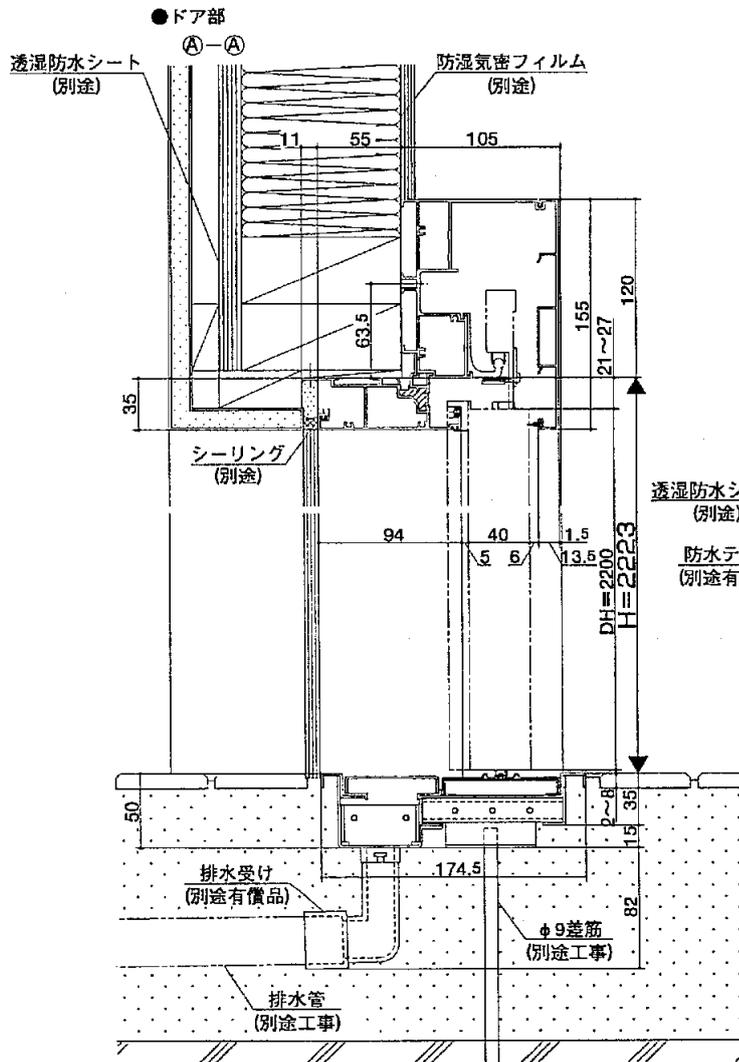
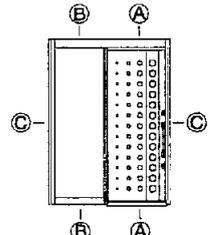


③上枠カバーA(長い方)を上からは
め込み、上枠カバーBと同面にな
るよう手ではめ込んでください。



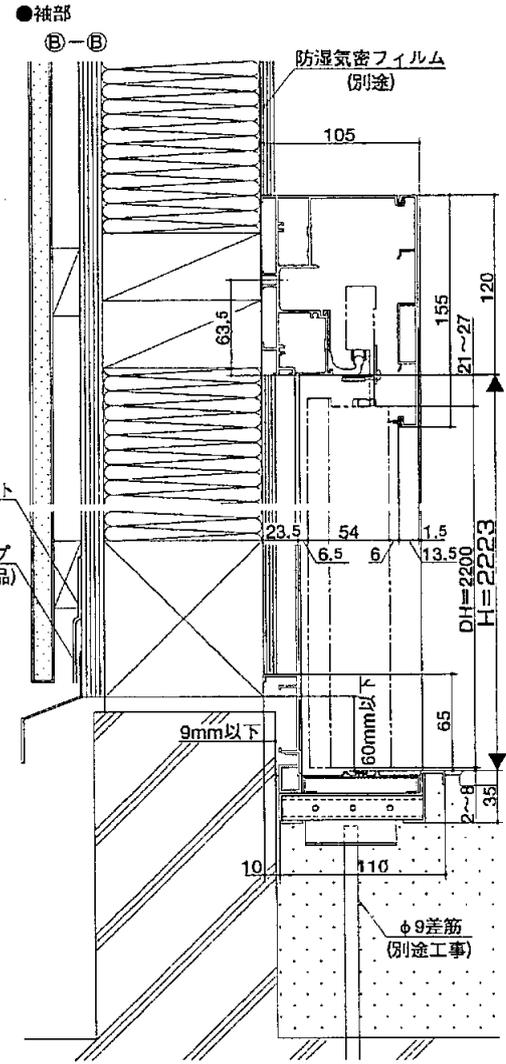
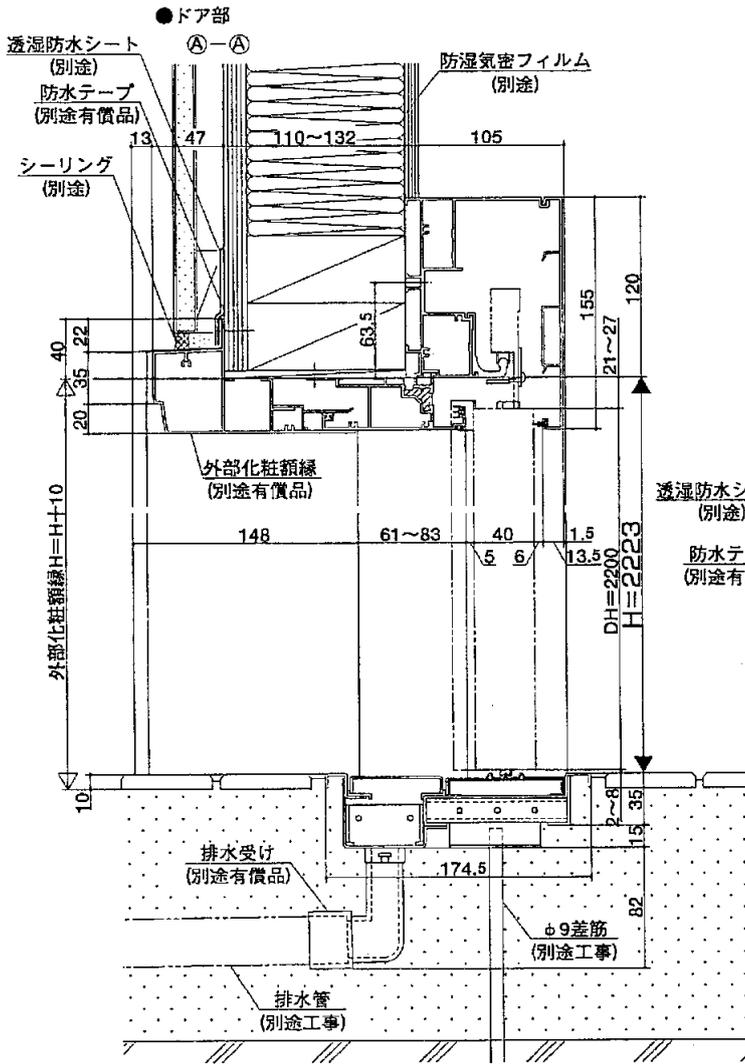
参考納まり図 〈外：サイディング納まり／内：室内補助枠〉

※このページの縮尺は1/5です。

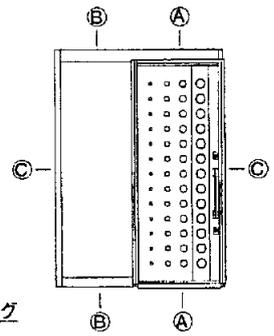


参考納まり図 〈外：外部化粧額縁／内：両入隅納まり〉

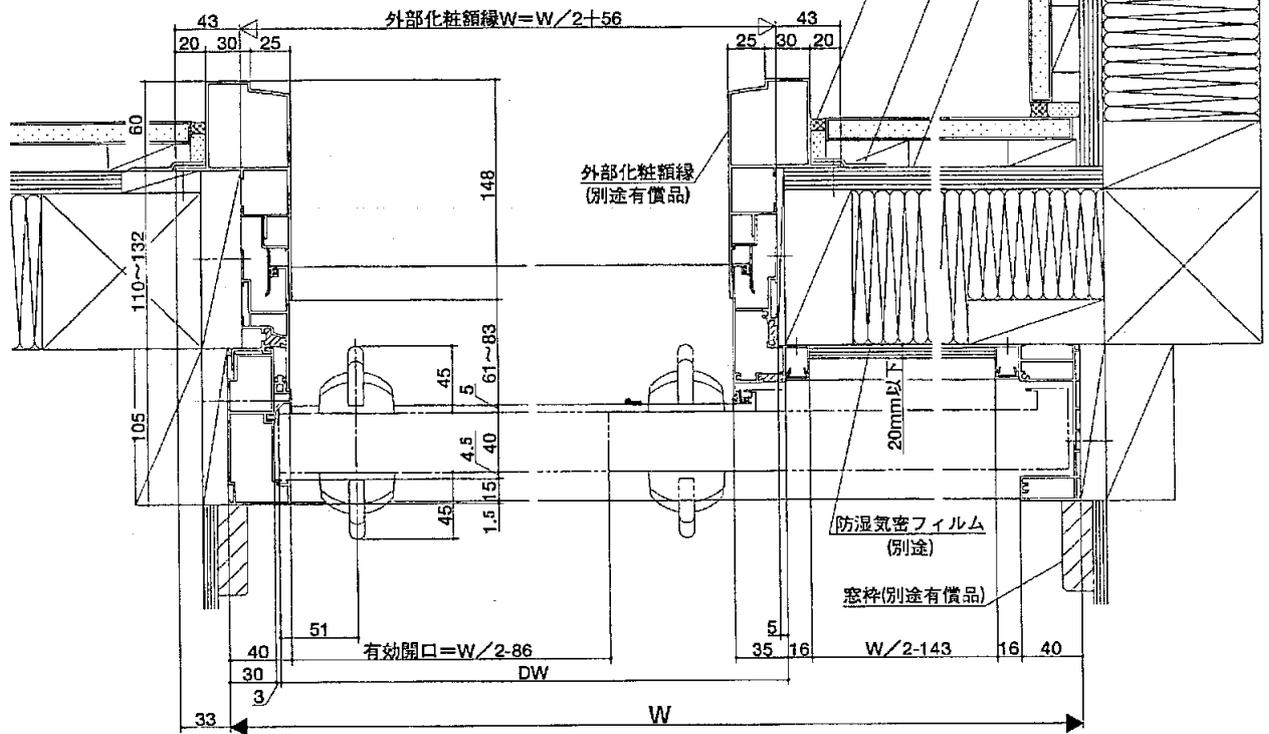
※このページの縮尺は1/5です。



※このページの縮尺は1/5です。



◎-◎



外部化粧額縁+外額縁補助枠(厚壁対応用)

